

質問書様式

別紙

件名	上信越自動車道 若穂スマートＩＣ工事				
----	--------------------	--	--	--	--

番号	質問分類（選択）	質問対象（選択）	質問箇所	質 問 事 項	回答（発注者使用欄）
1	質問書A(申請書等に関する質問)	入札公告（説明書） ※技術提案書に係る評価項目、評価基準に関する部分を除く	競争参加資格要件等一覧表の競争参加要件の中の施工実績、及び配置予定技術者に求める同種工事	施工実績及び技術者の施工経験として求められている「土工工事」の定義につきまして、掘削または切土工、盛土または埋戻し工を含む工事で数量は問わないと解釈しておりますが、よろしかったでしょうか。	その通りお考え下さい。
2	質問書A(申請書等に関する質問)	入札公告（説明書） ※技術提案書に係る評価項目、評価基準に関する部分を除く	競争参加資格要件等一覧表 競争参加要件 施工実績	自動車専用道路とは、高速自動車国道を含むと考えてよろしいでしょうか。	その通りお考え下さい。
3	質問書A(申請書等に関する質問)	入札公告（説明書） ※技術提案書に係る評価項目、評価基準に関する部分を除く	技術評価項目及び技術評価基準 施工の円滑性 災害時の協力実績（緊急災害工復旧工事の施工実績）	雪氷応援作業についても災害協力実績とみなされるか教えて頂けますでしょうか。	入札公告（説明書）の「技術評価項目及び技術評価基準」における「災害時の協力実績（緊急災害復旧工事等の施工実績等）」の留意事項1.に示すとおり、「東日本高速道路株式会社契約事務処理要領」に規定される災害復旧方式《工事・調査等》又は災害復旧方式【簡易型】《物品・役務》に基づき契約されたものであれば実績として認めるものとお考えください。
4	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26-6 構造物掘削 26-6-4 施工	6)、7)で親杭とありますが、具体的に何を指しているのかご教示願います。	鋼矢板とお考え下さい。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (特記仕様書26-6-4 6),7))
5	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	03-3設計図 川田橋（上り線） 51/75、54/75	51/75B-B断面で鋼矢板Ⅲ型に鋼矢板切断位置と記載されていますが、54/75数量表にはⅢ型の切断の記載がありません。切断するということでしょうか。	Ⅲ型の鋼矢板も切断となります。なお設計図書に誤りがありましたので交付図書を訂正します。 (設計図 川田橋（上り線）51/75、54/75)
6	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	7-(1) 基礎杭	場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1500）について、残土処分はどのようにするのか、ご教示願います。	残土処理は路体部へ運搬、敷き均し、締固め、含水比の調整を行います。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。
7	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	7-(1) 基礎杭	場所打ちコンクリート杭（機械掘削、φ1500）の杭頭処理について、この単価表に計上でよろしいか、ご教示願います。	その通りです。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。
8	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26-13 コルゲートパイプカルバート	構造物掘削（普通部）含むとありますが、残土は何処に運搬するか、ご教示願います。	盛土材として考えております。運搬先については貴社の施工計画書に基づいて計画してください。
9	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	03-3設計図 川田橋（上り線） 43/75、44/75	場所打ち杭鉄筋について、図43/75、44/75の鉄筋表記載のA鉄筋が金抜き設計書の鉄筋A（K）の数量に計上されていません。鉄筋A（K）に計上でよろしいでしょうか。	鉄筋A(K)に計上願います。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (金抜設計書 鉄筋A(K))
10	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	03-4設計図 川田橋（下り線） 24/42	場所打ち杭鉄筋について、図24/42の鉄筋表記載のA鉄筋が金抜き設計書の鉄筋A（K）の数量に計上されていません。鉄筋A（K）に計上でよろしいでしょうか。	鉄筋A(K)に計上願います。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (金抜設計書 鉄筋A(K))
11	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26-21 基礎地盤改良工	26-21-3 種別の表で安定処理改良材Bの備考に安定処理A、Dと記載がありますが、単価表の数量は安定処理Aの分のみ計上されています。安定処理Dの改良材はどこへ計上すればよろしいでしょうか。	安定処理Dに計上ください。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (特記仕様書26-21-3)
12	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26-21 基礎地盤改良工	26-21-5 施工6)の余剰土には安定処理Dの排泥も含まれると考えてよろしいでしょうか。	その通りです。
13	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	特-(4) 撤去工 遮音壁 I-P（H=2.0m）S	遮音壁、土留め板の撤去に関して歩掛もしくは準用する積算基準をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき計上ください。

質問書様式

別紙

件名	上信越自動車道 若穂スマートＩＣ工事				
----	--------------------	--	--	--	--

番号	質問分類（選択）	質問対象（選択）	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
14	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	特 - (4) 撤去工 遮音壁 I - F (H=2.0m) M	遮音壁、土留め板の撤去に関して歩掛もしくは準用する積算基準をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき計上ください。
15	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	3 - (1) 表層排水工	表層排水工に使用する材料は購入土でよろしいでしょうか。	購入土です。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 130/142)
16	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	工事用機械分解組立費④	特殊部Eも図面03-3川田橋（上り線）67/75にクローラークレーン120tが記載されているので対象になるのではないのでしょうか。	特殊部Eも対象になります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。（特記仕様書27（1）、割掛対象参考内訳書【共通仮設費】工事用機械分解組立費④）
17	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	17-3 光通信ケーブル等損傷事故防止対策	川田橋橋梁およびボックスカルバートに添架されているケーブルに関して、本工事着手時に移設が完了されているかご教示ください。 移設されていない場合、ケーブル移設は設計変更の対象となるかご教示ください。	工事契約後、受注者の着手前までに発注者にて移設を行います。 本線通信ケーブルに関しては率計上項目に含まれています
18	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	17-4 架空線等上空施設及び地下埋設物関連事故の防止対策	切盛土等の本工事に支障する箇所の、電線・電柱、ガス管、上下水道管、通信ケーブルに関して、本工事着手時に移設が完了されているかご教示ください。 移設されていない場合、支障物移設は設計変更の対象となるかご教示ください。	工事契約後、受注者の着手前までに発注者にて移設を行います。 本線通信ケーブルに関しては率計上項目に含まれています
19	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	03-3. 設計図 川田橋(上り線) 71/75	A2橋台際の石碑、記念樹について、石碑移設と旗上げされていますが金抜設計書のどの単価項目に該当するかご教示ください。 該当がない場合、石碑、記念樹移設は設計変更の対象となるかご教示ください。	長野市により移設予定のため設計変更の対象にはなりません。 なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 川田橋(上り線)71/75)
20	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	5. 土取場に関する事項	土取場の土砂について、現地を確認したところ30cm以上の岩塊が点在し、盛土、埋戻しに使用する場合ふるい分けが必要となります。ふるい分けは設計変更の対象となるかご教示ください。	ふるい分けは長野市により実施予定です。 なお設計変更の対象にはなりません。
21	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	伐採、除根について	盛土施工箇所の伐採、除根について金抜設計書の単価項目に該当するものはありません。本工事着手時に伐採、除根が完了されているかご教示ください。 伐採、除根がされていない場合、設計変更の対象となるかご教示ください。	着手時には実施されておりません。 特記仕様書28. 補足事項に記載の通りです。
22	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	03-1. 設計図(本体工事編) 5-7/87 03-2. 設計図(本体工事附帯工編) 135/142	既設の用排水溝について、撤去工は計上されておりますが、工事施工中の水路切回しが計上されておりません。 水路切回しは設計変更の対象となるかご教示ください。	工事施工中の水路切回しが必要な場合は、工事契約後、監督員と協議の上、追加するものとします。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。
23	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	03-3. 設計図 川田橋(上り線) 53, 69/75	2段目の中段の鉄筋挿入工について、既設のコルゲート管に支障しています。コルゲート管は使用されておらず、損傷しても問題ないものかご教示ください。	問題ありません。
24	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	共通仮設費 有料道路料金費について	今回工事において想定されている車種毎の回数を提示願います	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。

件名	上信越自動車道 若穂スマートＩＣ工事				
----	--------------------	--	--	--	--

番号	質問分類（選択）	質問対象（選択）	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
25	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	共通仮設費 監督員詰所費	詰所費については、建物損料・設置撤去費のみと考えて宜しいか？什器備品は含まれないと考えて宜しいか？	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
26	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	共通仮設費 監督員詰所費	数量ではあ46ヶ月となっているが、今回工事工期は1260日（42ヶ月）です 見積の考え方をご教授ください	4 2か月になります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 （割掛対象表参考内訳書【共通仮設費】監督員詰所費）
27	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	準備工事費 工事車両泥落とし装置費	工事車両泥落とし装置は乾式と考えて宜しいか？	特記仕様書12-4の通り、乾式となります。
28	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	準備工事費 工事車両泥落とし装置費	今回工事期間は、R8.9～R12.2の1260日となっていますが上り線の設置期間がR9.1～R12.10 45ヶ月となっています 見積の考え方をご教授ください	上り線はR9.1～R12.2の3 8か月になります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 （割掛対象表参考内訳書【準備仮設費】工事車両泥落とし装置費）
29	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	準備工事費 工事車両泥落とし装置費	今回工事期間は、R8.9～R12.2の1260日となっていますが下り線の設置期間がR10.7～R12.10 27ヶ月となっています 見積の考え方をご教授ください	下り線はR10.7～R12.2の2 0か月になります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 （割掛対象表参考内訳書【準備仮設費】工事車両泥落とし装置費）
30	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26-6 構造物掘削 特殊部A～Gの鋼矢板	特殊部A～Gで施工する鋼矢板は中古買取品ということに宜しいか	特記仕様書26-6-2の通り中古品になります。
31	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26-6 構造物掘削 特殊部Fの鋼管杭の施工 （川田橋 下り線 A1橋台）	回転圧入機の施工において反力架台用の鋼矢板は本線側の一列の引抜のみ行うで良いか	引抜は行いません。
32	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26-6 構造物掘削 特殊部Gの鋼管杭の施工 （川田橋 上り線 A2橋台）	回転圧入機の施工において反力架台用の鋼矢板は本線側の一列の引抜のみ行うで良いか	引抜は行いません。
33	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26-6 構造物掘削 特殊部A～Dの鋼矢板切断後の処理について	土留め鋼矢板は頭部を切断するとなっているが、切断材はどのように処理するのかご教授ください	任意の現場仮置き場への運搬になります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 （特記仕様書26-6-1）
34	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26-6 構造物掘削 特殊部E～Gの鋼矢板・鋼管杭切断材の運搬先について	土留め鋼矢板・鋼管杭頭部を切断した材料は任意の仮置き場へ運搬となっていますが運搬距離についてご提示ください	貴社の施工計画に基づきお考え下さい。
35	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	集水ます-Dc [^] (D)-0.70・0.70・1.10(F)	集水ます Dc [^] (D)-0.70・0.70・1.10(F) については、NEXCO標準に基づくType E に分類されますが、数量は Type B 集水ますとして計上されているようです。本集水ますを Type B 集水ますとして取り扱ってよろしいか、ご確認いただきますようお願いいたします。	TypeEとして計上してください。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 （特記仕様書26-11-3(1)、金抜設計書 集水ますTypeE）
36	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	集水ます- Dc [^] -0.80×0.80×0.80(F)	集水ます Dc [^] -0.80×0.80×0.80(F) については、NEXCO標準に基づくType D に分類されますが、TypeCとして計上されているようです、そのままTypeCとして取り扱ってよろしいでしょうか？	その通りです。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 （特記仕様書26-11-3(1)、金抜設計書 5-(3)集水ますTypeC）
37	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26-5道路掘削、客土掘削、26-6構造物掘削	掘削土の仮置場に”任意”と記載されておりますが、設計図面(本体工事編) 87/87に示される”土取場”を仮置場としてよろしいでしょうか？ ご教示をお願いします。	土取場は仮置き場として使用できません。
38	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	特記仕様書_26頁	客土掘削 土砂A3、土砂A5 について、”上層路盤相当で締固め”と標記されていますが、”上部路床相当”の誤りではないでしょうか？	上層路盤相当とお考えください。

質問書様式

別紙

件名	上信越自動車道 若穂スマートＩＣ工事				
----	--------------------	--	--	--	--

番号	質問分類（選択）	質問対象（選択）	質問箇所	質 問 事 項	回答（発注者使用欄）
39	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	特記仕様書_31頁 26-6-4施工 6)	記載の”親杭”及び”鋼管杭”はどの部分を指しておられるかご教示ください。	鋼矢板とお考え下さい。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (特記仕様書26-6-4 6),7))
40	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	特記仕様書_38頁 A 1－3 (K)	単価項目A1-3 (K)の使用構造物には、川田橋A2橋台（上り線）しか記載されていませんが、下り線は対象外という認識でよろしいでしょうか。	上下線ともに対象になります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (特記仕様書26-14-1)
41	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	基礎杭	現場打ちコンクリート杭の掘削により発生する掘削土の運搬先について、記載がございません。ご指示をお願いいたします。	残土処理は路体部へ運搬、敷き均し、締固め、含水比の調整を行います。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。
42	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26. 工事細部に関する事項 26-24撤去工 26-24-2種別	防護柵Gc-A-Eは防護柵Gc-A-7Eと同等と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	その通りです。
43	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26. 工事細部に関する事項 26-24撤去工 26-24-2種別	立入防止柵h=1500、h=2500それぞれの延長が不明となっております。数量内訳についてご教示願います。	h=1 5 0 0の数量が9 2 7 m, h=2 5 0 0の数量は0mになります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (特記仕様書26-24-2、金抜設計書 特-(4)撤去工 立入防止柵、設計図 附帯工編 135/142)
44	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26. 工事細部に関する事項 26-24撤去工 26-24-2種別	区分内容に記載の現場内仮置き場、仮置き場は更埴IC外ブラ資材置場と考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	現場内仮置き場を想定しております。
45	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26. 工事細部に関する事項 26-25転落防止柵工 26-25-2種別	単価表の項目Bの区分内容において、撤去した既設転落防止柵は更埴IC外ブラ資材置場に仮置きするものと考えてよろしいでしょうか。ご教示願います。	更埴IC外ブラ資材置場への仮置きは発生しないと考えております。撤去・再設置です。 なお、現場内仮置き場に仮置きすることは妨げません。
46	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	設計図(本体工事附帯工編)_85/142	須坂23配筋図について、機械式定着箇所規格が記載されていませんが、他のｶｳﾍﾞｰﾄと同様に0m<L≦1mと考えてよろしいでしょうか。	その通りです。 なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 85/142)
47	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	設計図(本体工事附帯工編)_1, 13, 40, 59, 74/142	須坂19, 20, 21, 23 A2ﾌﾗﾝﾌﾞ Boxの各一般図に”中詰土”の標記を追記願います。	数量総括表及び特記仕様書26-5-1に記載の通りです。
48	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	設計図(本体工事附帯工編) 137/142 撤去工図 (3)	撤去工図(3)交通安全施設撤去数量表において、立入防止柵積雪地用S4の数量が988.7mと記載されているが、金抜設計書では977mとなっています。どちらが正しいのでしょうか。ご教示願います。	正しくは927mになります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (特記仕様書26-24-2、金抜設計書 特-(4)撤去工 立入防止柵、設計図 附帯工編 137/142)
49	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	集水ます- Dc` (D)-0.50・0.50・0.60 (F) & Dc` (D)-0.60・0.60・0.80 (F)	数量総括表には記載がございませんが、本集水ますのタイプにつきましては図面に記載されております、どちらが正解かご教示お願いいたします。	図面が正です。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (金抜設計書 5-(3)集水ます TypeA・B)
50	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	集水ます- Dc`-0.50・0.50・0.60 (F)	数量総括表には本タイプの集水ますが5基計上されておりますが、図面上で確認できるのは3基のみとなっております。ご確認をお願いいたします。	3基が正です。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (金抜設計書 5-(3)集水ます TypeA)
51	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	地下排水工 - Du-Pφ0.15-0.5-0.5	数量総括表には地下排水工 (Du-Pφ0.15-0.5-0.5) が71.4m(下部工 下り線A2) 記載されておりますが、図面上では確認できませんでした。ご確認をお願いいたします。	図面が正です。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (金抜設計書 5-(7)地下排水工 Du-Pφ0.15・0.50・0.50)
52	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26. 工事細部に関する事項 26-5 道路掘削、客土掘削 26-5-1 定義	道路掘削 土砂 の土質区分についてご教示ください。	参考図を参照願います。
53	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26. 工事細部に関する事項 26-9 コンクリートブロック積工 26-9-1 種別	備考欄に「構造物掘削含む」との記載がありますが、コンクリート基礎工Aに計上しないでコンクリートブロック積工に計上すると考えて宜しいでしょうか、ご教示ください。	その通りです。

件名	上信越自動車道 若穂スマートＩＣ工事				
番号	質問分類（選択）	質問対象（選択）	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
54	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	工事全般	当該施工地域においては機械損料の豪雪地域補正が適用されると考えて宜しいでしょうか、ご教示ください。	その通りです。
55	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号 41 項目番号 (5)-1 用排水溝 PU [〃] (D2)・0.30・0.50(F)	設計図面にPU [〃] (D2)・0.30・0.50(F)の詳細図および材料表が見当たりません、10m当り又は28m当りの材料表についてご教示ください。	設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 94、137/142 用排水工詳細図 (2))
56	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	本体工事附帯工編 図面番号 94/142 DV-Bf-0.25-0.175(BR) 材料表	10m当りのBf数量が16.5個と記載されていますが1個当りの長さが600mmなのでしょうか、Bfの長さについてご教示ください。	Bfが2000mm規格なので、5.0個に修正しました。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編94/142)
57	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	本体工事編 図面番号 1/87 記号説明表	用・排水溝 PVC(1)-a のと記載が有りますがPVCをPCVと読み替えることで宜しいでしょうか、ご教示ください。	PCVが正になります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 本体工事編 1/87)
58	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	本体工事附帯工編 図面番号 94/142 Dc [〃] -0.80-0.80-2.00(F)	単価表のどの項目に計上すれば宜しいでしょうか、ご教示ください。	図面は削除いたします。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 94/142)
59	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	本体工事附帯工編 図面番号 94/142 Dc [〃] -0.80-0.80-2.00(F)	材料表に埋戻し量の記載が有りませんが埋戻しは計上しないと考えるて宜しいでしょうか、ご教示ください。	図面は削除いたします。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 94/142)
60	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号 54 項目番号 (5)-3 集水桝 TypeA	数量が16箇所と記載されていますが、設計図面本体工事編(図番 ; 79/87、80/87、81/87)で5箇所(Dc [〃] (D)-0.50-0.50-0.50(F)=1箇所、Dc [〃] -0.50-0.50-0.60(F)=2箇所、Dc [〃] -0.50-0.50-0.50(F)=2箇所)、側道工事編(図番 ; 7/9、8/9)で12箇所(Dc [〃] (D)-0.50-0.50-0.60(F)=3箇所、Dc [〃] (D)-0.50-0.50-0.50(F)=2箇所、Dc [〃] -0.50-0.50-0.60(F)=1箇所、Dc [〃] -0.50-0.50-0.50(F)=6箇所)の計17箇所では無いのでしょうか、構造物記号も併せてご確認及びご教示をお願いします。	17箇所が正です。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 94/142、金抜設計書5-(3) 集水ます TypeA)
61	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号 55 項目番号 (5)-3 集水桝 TypeB	数量が29箇所と記載されていますが、設計図面本体工事編(図番 ; 79/87、80/87、81/87)で21箇所(Dc [〃] (D)-0.70-0.70-1.10(F)=1箇所、Dc [〃] -0.60-.60-0.60(F)=4箇所、Dc [〃] -0.70-0.70-0.70(F)=16箇所)、側道工事編(図番 ; 7/9、8/9)で9箇所(Dc [〃] -0.60-.60-0.60(F)=2箇所、Dc [〃] -0.70-0.70-0.70(F)=1箇所、Dc [〃] (D)-0.60-0.60-0.80(F)=1箇所、Dc [〃] (D)-0.70-0.70-0.70(F)=5箇所)の計30箇所では無いのでしょうか、構造物記号も併せてご確認及びご教示をお願いします。	29箇所が正です。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (特記仕様書26-11-3、金抜設計書 5-(3) 集水ます TypeB)
62	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号 56 項目番号 (5)-3 集水桝 TypeC	土木工事積算基準 11-45頁によれば、集水ますのTypeCは蓋無しである、設計図面本体工事編(図番 ; 79/87、80/87、81/87)と側道工事編(図番 ; 7/9、8/9)には積算基準に記載のTypeCの記号の記載は有りませんが、単価表の項目にTypeDが無いのでTypeCと同規格で蓋有り(Dc [〃] 、Dc [〃] (D))のTypeDの記号の集水ますをTypeCに計上すると考えて宜しいでしょうか、ご教示ください。	その通りです。
63	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	本体工事附帯工編 図面番号 95/142 Dc-M-0.70-0.70-0.60(F)	材料表に埋戻しの記載が有りません、埋戻しは計上しないと考えるて宜しいでしょうか、ご教示ください。	埋戻しは計上してください。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編95/142)

質問書様式

別紙

件名	上信越自動車道 若穂スマートＩＣ工事
----	--------------------

番号	質問分類（選択）	質問対象（選択）	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
64	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号 58 項目番号 (5)-3 集水桝 TypeF	数量が3箇所と記載されていますが、設計図面本体工事編(図番；79/87、80/87、81/87)で2箇所(Dc-S-0.80-0.80-1.60＝2箇所)、側道工事編(図番；7/9、8/9)で2箇所(Dc` (GL)-1.00-1.00-1.10(F)＝3箇所)の計5箇所では無いのでしょうか、構造物記号も併せてご確認及びご教示をお願いします。	計5箇所が正です。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (金抜設計書 5-(3)集水ます TypeF)
65	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号 68、69 項目番号 (6)-1 継目工 I型(B)、Ⅲ型(A)	I型止水板の1m当り単価にはコーナー金物の単価も含まれていると考えて宜しいでしょうか、ご教示ください。	その通りです。
66	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号 68、69 項目番号 (6)-1 継目工 I型(B)、Ⅲ型(A)	I型止水板の取付歩掛は積算基準 13-34頁 6.継目工 6-1継目工I型 (2)施工歩掛 の継目工I型の施工歩掛、6-3継目工Ⅲ型 (3)施工歩掛 の継目工Ⅲ型の施工歩掛に準拠していると考えて宜しいでしょうか、ご教示ください。	その通りです。
67	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号 71、72、73 項目番号 (7)-1 現場打ちコンクリート杭(機械掘削、φ1500) A・B・C	特記仕様書に場所打ちコンクリート杭に関する項目の記載が有りません、種別、材料、支払い等についてご教示ください。	コンクリート杭（基礎杭）について特記仕様書に記載しました。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。
68	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号 74、75 項目番号 (8)-1 コンクリート A1-3、A1-3(K)	あと施工アンカー施工に伴う、積込、運搬、処分も単価項目に含まれると考えて宜しいでしょうか、ご教示ください。	その通りです。
69	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26. 工事細部に関する事項 26-14 コンクリート構造物 26-14-1 コンクリートの種別	使用構造物欄に川田橋A2橋台(上り線)との記載がありますが、設計図面 川田橋(下り線) 図面番号 23/41 川田橋(下り線)A2橋台拡幅配筋図 が有りますので下り線のA2橋台もA1-3(K)に計上すると考えて宜しいでしょうか、ご教示ください。	川田橋A2橋台は上下線ともにA1-3(K)に計上ください。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (特記仕様書26-14-1)
70	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	川田橋(上り線) 図面番号 43/75 A1橋台場所打ち杭配筋図 材料表	材料表内の購入品 固定金具 Uボルト M12 D25用 140 との記載が有りますが、購入品本数合計では160と記載されています、正しい数値についてご教示ください。	160が正です。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 川田橋（上り線）43/75)
71	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	本体工事附帯工編 図面番号 11/142 集計表	鉄筋Aで本体部の鉄筋D19、D13の数量が図面番号6/142に記載の鉄筋質量表の数量と差異が有ります、ご確認頂き正しい数量についてご教示ください。	設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 11/142)
72	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	本体工事附帯工編 図面番号 73/142 集計表	鉄筋Aで本体部の鉄筋D22、D16の数量が図面番号63/142に記載の鉄筋質量表の数量と差異が有ります、ご確認頂き正しい数量についてご教示ください。	設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 73/142)
73	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	本体工事附帯工編 図面番号 85/142 鉄筋表	鉄筋Cで機械式定着箇所の箇所数は記載されていますが機械式鉄筋定着工法の規格の記載が有りません、その他のBOXと同じ0m<L≤1mと考えて宜しいでしょうか、ご教示ください。	その通りです。 なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 85/142)
74	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号 85 項目番号 (8)-3 鉄筋 A(K)	数量が72.65と記載されていますが、設計図面 川田橋(上り線)図面番号22/75、40/75 (下り線)図面番号20/41、23/41に記載の鉄筋Aの合計数量とに差異が有ります、ご確認頂き正しい数量についてご教示ください。	正しくは73.83 tになります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (金抜設計書 8-(3)鉄筋A(K)、設計図 川田橋（上り線）22/75・40/75、川田橋（下り線）20/41)

件名	上信越自動車道 若穂スマートＩＣ工事				
----	--------------------	--	--	--	--

番号	質問分類（選択）	質問対象（選択）	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
75	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号 103 項目番号 (18)-14 踏掛版工	設計図面 川田橋(上り線)、川田橋(下り線)の踏掛版配筋図に既設コンクリート削孔の記載が有ります、該当の単価項目にコンクリート殻の積込・運搬・処分も含まれると考えると宜しいでしょうか、ご教示ください。	その通りです。
76	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	本体工事附帯工編 図面番号 137/142 撤去工図	集水ます撤去 表中の $Dc^{-}0.50 \cdot 0.50 \cdot 0.50$ の数量0.07は蓋のみの数量です、ます本体0.22はどのようにすれば宜しいでしょうか、ご教示ください。	0.07と0.22を足した0.29m3を1個当たりの集水ます撤去とお考え下さい。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 137/142)
77	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	本体工事附帯工編 図面番号 137/142 撤去工図	集水ます撤去 表中の $Dc^{-}(SP)-a \cdot b \cdot c$ の綯鋼板蓋ははどのように計上すれば宜しいでしょうか、ご教示ください。	集水ます撤去に関しては、構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (TypeA)、コンクリート構造物取壊し (TypeB) に含みます。
78	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	本体工事附帯工編 図面番号 137/142 撤去工図	図中の $Dc^{-}(G)-0.70 \cdot 0.70 \cdot 0.80$ は用排水溝撤去表中には記載がありません、図面番号135/142の図中には記載がありますが用排水溝合計数量には加算されていないと考えると宜しいでしょうか、どのようにすれば宜しいでしょうか、ご教示ください。	$Dc^{-}(G)-0.70 \cdot 0.70 \cdot 0.80$ の数量を追記しました。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 137/142、金抜設計書 構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (TypeB))
79	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	本体工事附帯工編 図面番号 137/142 撤去工図	集水ます撤去 表中の $Dc^{-}0.50 \cdot 0.50 \cdot 0.50$ の数量が4個となっていますが、図面番号135/142から読み取れるのは3個ではないでしょうか、ご確認をお願いします。	正しくは3個になります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 137/142、金抜設計書 構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (TypeB))
80	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	本体工事附帯工編 図面番号 137/142 撤去工図	集水ます撤去 表中の $Dc^{-}(D)-0.70 \cdot 0.70 \cdot 0.80$ の集水ますの数量が1個となっていますが設計図面 側道工編 図面番号9/9に1個記載されているので2個ではないでしょうか、ご確認をお願いします。	正しくは2個になります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 137/142、金抜設計書 構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (TypeA))
81	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	本体工事附帯工編 図面番号 137/142 撤去工図	用排水溝撤去 表中の $Ds-U \cdot 0.40 \cdot 0.45$ の数量が6.6mと記載されていますが図面番号135/142から読み取れるのは21.7mではないでしょうか、ご確認をお願いします。	正しくは21.7mになります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 137/142、金抜設計書 構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (TypeB))
82	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	本体工事附帯工編 図面番号 137/142 撤去工図	用排水溝撤去 表中の $Ds-PUL(S2) \cdot 0.30 \cdot 0.30$ の数量が455.2mと記載されていますが図面番号135/142から読み取れるのは458.1mではないでしょうか、ご確認をお願いします。	正しくは458.1mになります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 137/142、金抜設計書 構造物等取壊し工 コンクリート構造物取壊し (TypeA))
83	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26. 工事細部に関する事項 26-17 構造物取壊し工 26-17-1 種別 コンクリート構造物取壊し (TypeC) (K)	設計図面 川田橋(上り線)図面番号 4/75、6/75 A1橋台・A2橋台拡幅構造一般図に既設鉄筋コンクリート撤去、既設コンクリートはつり、既設舗装撤去、既設客座はつり、既設支承撤去の記載があります、単価表の項目に計上するのは既設鉄筋コンクリート撤去のみ、又は、全ての項目でしょうか、計上項目についてご教示ください。	既設鉄筋コンクリート撤去のみとなります。（その他は別工事で施工します。） なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 川田橋(上り線)4/75・6/75)
84	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26. 工事細部に関する事項 26-17 構造物取壊し工 26-17-1 種別 コンクリート構造物取壊し (TypeC) (K)	上記質問で全ての項目の場合、全ての項目に発生材の積込み、運搬、処分が含まれると考えると宜しいでしょうか、ご教示ください。	特記仕様書26-17-2の通り含まれます。
85	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26. 工事細部に関する事項 26-19 交通規制工	交通規制工の積算において、日当り断面交通量は15,000台/日未満と考えると宜しいでしょうか、ご教示ください。	その通りです。
86	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26-19「交通規制工」	本線への交通規制は、いつ頃から実施することを想定していますか。なお、橋台やボックスカルバート築造時には、規制を伴う本線上への仮設防護柵の設置が不要と考えると良いですか。	交通規制は貴社の施工計画に基づきお考え下さい。仮設防護柵の設置は必要と考えています。
87	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26-14「コンクリート構造物工」	既設川田橋橋台について、橋台側面に添架されている鋼製通路等施設の撤去・復旧に要する費用は設計変更が可能ですか。	監督員との協議の上、設計変更の対象となります。

件名	上信越自動車道 若穂スマートＩＣ工事				
----	--------------------	--	--	--	--

番号	質問分類（選択）	質問対象（選択）	質問箇所	質 問 事 項	回答（発注者使用欄）
88	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	26-14「コンクリート構造物工」	コンクリートの寒中養生が必要となる場合、これらの費用は設計変更が可能ですか。	設計変更の対象となりません。
89	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	「本体工事附帯工編」図番140/142	当該図面に図示及び表中に記載がある部材は全て貸与いただけるものと考えて良いですか。なお、受注者で手配する必要がある部材があればご教示ください。	その通りです。手配する部材はありません。
90	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	16-1「発生する残存物件と引渡し方法」	記載物品は発生箇所が発注者に引渡しする内容ですが、任意の現場内仮置場等へ小運搬・集積し引渡す場合、発生品の積込・小運搬・取卸しに要する費用は設計変更が可能ですか。なお、引渡し時の積込作業は発注者にて対応いただけるものと考えて良いですか。	積込・小運搬・取り卸しは設計変更の対象とはなりません。引渡し時の取扱いとは別途監督員より指示します。
91	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号113「基礎地盤改良工 安定処理B」 番号115「基礎地盤改良工 安定処理D」 番号116「基礎地盤改良工 安定処理E」	設計で想定する工法をご教示ください。なお、施工可能で品質等を満足する方法であれば、特段工法に指定はないものと考えて良いですか。	その通りです。
92	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	17-3「光通信ケーブル等損傷事故防止対策」 17-4「架空線等上空施設及び地下埋設物関連事故の防止」	各埋設物や架空線管理者との協議の結果、本工事の施工方法や工法等に変更が生じた場合、施工に必要な費用は設計変更が可能ですか。	監督員との協議の上、設計変更の対象となります。
93	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	23-4. 完全週休2日工事に要する費用	本工事で採用している週休2日補正は、令和7年度版土木工事積算基準に記載された補正係数（労務費1.02、共通仮設費1.02、現場管理費1.03）を採用していると考えて良いですか。	その通りです。
94	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	特記仕様書26-5-1「各種掘削」	単位数量当りの「掘削、積込」、「運搬」、「敷均し」、「締固め」の各数量には割増が考慮されていますか。考慮されている場合は設計積算で採用されている各項目の「割増率」をご公表ください。	考慮されています。割増率については積算基準を参照ください。
95	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	特記仕様書26-6-1	定義されている構造物掘削について、積算基準上の施工規模は「一般規模」と「小規模」のどちらが適用されていますか。	土木工事積算基準を参照ください。
96	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	特記仕様書26-6-1	「特殊部A」～「特殊部G」の作業内容に記載されている鋼矢板圧入機による鋼矢板の打込みについて、鋼矢板の引抜は無いと考えて良いですか。また、頭部切断を行った鋼矢板について、任意の仮置き場へ運搬すると考えて良いですか。異なる場合は、設計精算上で採用している積算内容をご教示ください。	引抜はありません。任意の仮置場については貴社の施工計画に基づき計画願います。
97	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	特記仕様書26-11-1（1）	「PU` (D2)・a・b(F)」について、積算は国土交通省の積算基準が適用されると考えて良いですか。	土木工事積算基準を適用しています。
98	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	特記仕様書26-11-1（1）	「PU` (D2)・a・b(F)」について、「ふた（落しふた）」は全てコンクリート製落し蓋（L=500）を設置すると考えて良いですか。	全てコンクリート製落し蓋（L=500）ではございません。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。（設計図 附帯工編 94・137/142）
99	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	特記仕様書26-11-2（1）	「P-Bx・a・b(F)」について、積算は国土交通省の積算基準が適用されると考えて良いですか。	土木工事積算基準を適用しています。

質問書様式

別紙

件名	上信越自動車道 若穂スマートＩＣ工事				
----	--------------------	--	--	--	--

番号	質問分類（選択）	質問対象（選択）	質問箇所	質 問 事 項	回答（発注者使用欄）
100	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号1「道路掘削」～ 番号7「客土掘削 A5」	土工事（道路掘削、客土掘削、構造物掘削）には「スマートＩＣ土工」が適用されると考えて良いですか。	土運搬がダンプショベル施工の場合は「スマートIC土工」を適用しておりますが、ブルドーザ施工の場合は「土工」を適用しております。ただし、機械編成は任意のため、貴社の施工計画に基づきお考え下さい。 構造物掘削は「スマートIC土工」を適用していません。
101	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号1「道路掘削」	特記仕様書25頁の「26. 工事細部に関する事項の備考」に記載されている「道路掘削 土砂」について、掘削した土砂は、直接路体部へ運搬する内容が積算に反映されていると考えて良いですか。	その通りです。
102	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号20「表層排水工A」	表層排水工で使用する「砂材」は、購入品と考えて良いですか。なお、購入品の場合は、設計積算上で使用している単価又は単価の出典元をご教示ください。	購入土です。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 130/142)
103	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号51, 52「用排水管 P(Po-B)・φD(Sd-B)」	どちらも裏込め材は「現地発生土」を使用すると考えて良いですか。	その通りです。
104	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号64「地下排水工 Du-P-φ0.15・0.50・0.50」	フィルター材は「現地発生土」を使用すると考えて良いですか。	その通りです。
105	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号94「簡易舗装工」	使用する路盤材は「粒度調整碎石 M-40」と考えて良いですか。	その通りです。
106	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号95「簡易舗装工」 番号96「簡易舗装工」	使用する路盤材は「再生クラッシュラン RC-40」と考えて良いですか。	その通りです。
107	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号112「基礎地盤改良工」～番号116「基礎地盤改良工」	設計積算上で採用している単価は、見積または協会積算資料を採用していると考えて良いですか。なお、見積を採用している場合は、設計積算上で採用している単価を算定するための参考資料（歩掛構成・歩掛数量・使用材料など）を、協会積算資料を採用している場合は、工種と工法名をご公表ください。	土木工事積算基準、協会積算資料、国土交通省土木工事積算基準のいずれかを採用しております。 工種と工法は貴社の施工計画に基づき計画してください。
108	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	割掛け対象表参考内訳書「工事用機械分解組立費③」	(参考) 数量内訳へ記載されている「クローラクレーン」は、分解組立輸送費を「1台－1回」計上すると考えて良いですか。	クローラクレーンの使用は考えておりません。
109	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	割掛け対象表参考内訳書「工事用機械分解組立費④」	(参考) 数量内訳へ記載されている「クローラクレーン」は、分解組立輸送費を「1台－1回」、現場内移動を「1台－2回」計上すると考えて良いですか。	その通りです。 なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (割掛対象表参考内訳書 工事用機械分解組立費④)
110	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	割掛け対象表参考内訳書「監督員詰所」	「借地料」、「敷地造成費」は含まれないと考えて良いですか。	その通りです。
111	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	割掛け対象表参考内訳書「仮設材等運搬費」	①、③、④は「往復計上」、②は「片道計上」と考えて良いですか。	①～③は片道、④は往復となります。 なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (割掛対象表参考内訳書 仮設材等運搬費②・④)
112	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	割掛け対象表参考内訳書「仮設材等運搬費④」	想定運搬距離は「11.8km」と考えて良いですか。	運搬距離は片道11.8kmの往復分で23.6kmを考えております。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (割掛対象表参考内訳書 仮設材等運搬費④)

件名	上信越自動車道 若穂スマートＩＣ工事				
----	--------------------	--	--	--	--

番号	質問分類（選択）	質問対象（選択）	質問箇所	質 問 事 項	回答（発注者使用欄）
113	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	割掛け対象表参考内訳書「有料道路料金費」	設計積算で想定している「車種」と「台数」をご公表ください。	貴社の施工計画に基づき計画してください。
114	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	「ヤード整備費」	割掛対象表では「準備工事費」に分類されていますが、割掛対象表参考内訳書では「仮設備工事費」へ分類されています。どちらを「正」と考えれば良いですか。	「準備工事費」が正になります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (割掛対象表参考内訳書 ヤード整備費)
115	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号16・17 2 - (6) 構造物掘削 特殊部F・G	特記仕様書26-6-1定義：「自走式回転圧入機による鋼管杭(φ1000)の打込み」につきまして、積算上想定されている工法名をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき計画してください。
116	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号21 3 - (1) 表層排水工 表層排水工A	表層排水材は、購入材と現地採取材のどちらで考えましょうか。購入材の場合、材料規格等をご教示願います。	購入土です。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 130/142)
117	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号28～ 5 - (1) 用排水溝 5 - (2) 用排水管 5 - (3) 集水ます	基礎材につきまして図面上明記されていない「基礎材」につきましては、特記仕様書19-1.再生資材の使用に明記されておりませんが、以下のいずれを採用しておりますでしょうか。ご教示願います。 ①参考積算条件書に記載の「再生砕石 RC40～0mm」 ②物価資料に記載のRC-40 ③その他 上記③の場合につきましては、材料の名称・規格等をご教示願います。	図面上明記されていない「基礎材」の材料については、物価資料に記載のRC-40とお考え下さい。 なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (特記仕様書 19-1)
118	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	金抜設計書 番号41 5 - (1) 用排水溝 P U ^ (D 2) ・ 0 . 3 0 ・ 0 . 5 0 (F)	当該項目の設計図を明示願います。	図面を追加しました。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。
119	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号51～53 5 - (2) 用排水管	用排水構造物標準設計図集における掘削深Hは、積算上どの値を採用されておりますでしょうか。ご教示願います。	排水系統図より算出願います。
120	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号64 5 - (7) 地下排水工 D u - P - φ 0 . 1 5 ・ 0 . 5 0 ・ 0 . 5 0	積算上想定されているフィルター材の規格等の詳細をご教示願います。	土工施工管理要領を参照ください。
121	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号71～73 7 - (1) 基礎杭	共通仕様書7-2-4 6)掘削に伴い発生した残土の処理方法は、特記仕様書によるものとする。と記載されておりますが、特記仕様書に記載がございません。掘削に伴い発生した残土の処理方法をご教示願います。	残土処理は路体部へ運搬、敷き均し、締固め、含水比の調整を行います。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。
122	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号84～89 8 - (3) 鉄筋	参考積算条件書より本工事における適用年月は土木工事積算基準適用年月＝令和7年7月、単価ファイル適用年月＝令和8年7月、物価資料等適用年月＝令和8年8月ですが、土木工事単価ファイルFSTにおける「鉄筋加工・組立」は「物価資料等」の記載です。物価資料における鉄筋 加工・組立費は令和8年1月より、記載がありません。よって、本工事における鉄筋加工・組立費はどのようにお考えでしょうか。ご教示願います。	市場単価が廃止された一部の項目においては、市場単価が掲載されている最新版の物価資料等を参照願います。

件名	上信越自動車道 若穂スマートＩＣ工事				
----	--------------------	--	--	--	--

番号	質問分類（選択）	質問対象（選択）	質問箇所	質問事項	回答（発注者使用欄）
123	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号117・118 特－（１）基礎地盤改良工 安定処理改良材A 安定処理改良材B	安定処理改良材A・Bそれぞれの設計数量 513t、159tはロスを含んだ数量でしょうか。 ロスを含んでいない場合、ロスの計上有無と、想定されているロス率をご教示願います。	安定処理改良材A・Bについて、ロス率は含んでおりません。
124	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号117 特－（１）基礎地盤改良工 安定処理改良材A	改良材の単価は、参考積算条件書の「高炉セメントB種、1,000t未満」としてお考えでしょうか。 異なる場合、改良材の物価資料等における名称・規格等の詳細をご教示願います。	その通りです。
125	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号118 特－（１）基礎地盤改良工 安定処理改良材B	改良材の単価につきまして 改良材の物価資料等における名称・規格等の詳細をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき、特記仕様書26-21-3に示す材料に必要な費用を計上してください。
126	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号123 特－（４）撤去工 遮音壁I－F（H＝2.0m）M	金属製遮音板の1個当たりの質量をご教示願います。	標準図集を参照願います。
127	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号123 特－（４）撤去工 遮音壁I－F（H＝2.0m）M	金属製遮音板は全処分でしょうか。その場合、以下のいずれとしてお考えでしょうか。ご教示願います。 ①全数スクラップ費を計上 ②全数処分費を計上 ③その他 上記②の場合は、処分先名称と処分項目名称を上記③の場合は、詳細をご教示願います。	特記26-24-2の通りです。処分先は貴社の施工計画に基づき計画願います。処分項目名称は特－（４）撤去工 遮音壁I－F（H＝2.0m）Mになります。 なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。（特記仕様書 19-2）
128	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号124・125 特－（４）撤去工 防護柵Gc－A－E 防護柵Gr－A－4E	特記仕様書26-4-2種別：「任意の現場内仮置き場へ運搬するもの」につきまして 積算上想定されている運搬距離をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき計画してください。
129	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号126 特－（４）撤去工 立入防止柵	以下、ご教示願います。 ①h=1500、h=2000の数量内訳 ②立入防止柵の1m当りの質量 ③積算上想定されている運搬距離	①h=1500の数量が927m、h=2000、2500の数量は0mになります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 （特記仕様書26-24-2、設計図 附帯工編 135・137/142） ②標準図集を参照ください。 ③貴社の施工計画に基づき計画してください。
130	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	番号127 特－（４）撤去工 立入防止柵の出入口	以下、ご教示願います。 ①h=1500、h=2000の数量内訳 ②立入防止柵の1箇所当りの質量 ③積算上想定されている運搬距離	①h=1500の数量が927m、h=2000、2500の数量は0mになります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 （特記仕様書26-24-2、設計図 附帯工編 135・137/142） ②標準図集を参照ください。 ③貴社の施工計画に基づき計画してください。
131	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	工事用機械分解組立費③	割掛対象表参考内訳書におきまして 2台-1回(現場内移動)との記載ですが、積算上はどのように費用を計上されているのでしょうか。ご教示願います。	貴社の施工計画に基づき計画してください。
132	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	仮設材運搬②	運搬質量、または、H鋼置き式ガードレール1m当りの質量をご教示願います。 また、運搬費の計上につきまして、準拠された積算基準とその条件等の詳細をご教示願います。	設計図（本体附帯工）140/142の仕様を満たすのであれば、質量に指定はありません。 運搬費については、土木工事積算基準を適用して計上することを想定しております。
133	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	仮設材運搬④	積算上想定されている、運搬距離をご教示願います。	運搬距離は片道11.8kmの往復分で23.6kmを考えております。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 （割掛対象表参考内訳書 仮設材等運搬費④）
134	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	有料道路料金費	特記仕様書27.長野IC～須坂長野東IC間(片道)の通行料金の費用と記載がございます。車種毎の片道通行料金の計上回数をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき計画してください。

件名	上信越自動車道 若穂スマートＩＣ工事				
----	--------------------	--	--	--	--

番号	質問分類（選択）	質問対象（選択）	質問箇所	質 問 事 項	回答（発注者使用欄）
135	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	工事用車両泥落とし装置費	泥落とし装置(乾式)2基につきまして積算上想定されている、泥落とし装置の規格名称をご教示願います。	規格の指定はございません。
136	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	足場工費①・②	積算上想定されている足場材の存置日数につきまして、足場工費①・②それぞれの存置日数をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき計画してください。
137	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	支保工費①・②	支保工材料につきまして、以下、支保工費①・②それぞれのお考えをご教示願います。 ①支保工材1空m3の単価の採用方法(計上方法、準拠資料等)、または、土木工事積算基準における「支保工のうちくさび結合支保工で算出を行う場合は、算定した空m3を支保工の費用とする。」に対する算出方法 ②支保工材の存置日数	土木工事積算基準を適用して計上することを想定しております。
138	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	移動足場工費	積算上想定されている、車種をご教示願います。	貴社の施工計画に基づき計画してください。
139	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	数量総括表	設計図面に数量総括表(数量明細表)の記載がありませんが設計成果貸与資料内の数量総括表を正と考えてよろしいでしょうか。	設計図書の数字を正としてください。
140	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	設計成果貸与資料	本体工事・付帯工事・側道工事に対する数量計算書についても貸与ください。	工事契約後に貸与予定です。
141	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	項目NO. 21表層排水工A	表層排水工Aに使用する材料について、購入材と考えてよろしいでしょうか。また、その規格はC-40でよろしいでしょうか。	購入土です。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 附帯工編 130/142)
142	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	項目NO. 32用排水工P U (S 2)	用排水溝P U (S 2) → P u L (S 2) ではないでしょうか。	PU(S2)となります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 本体工事編 81/87)
143	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	項目NO. 71～73基礎工	場所打ちコンクリート杭に対する特記が記載されていません。A=上りA1、B上り=A2、C=下りA1でしょうか。	その通りです。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。
144	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	項目NO. 71～73基礎工	発生する杭残土の運搬先をご提示ください。また、杭頭処理費について直工計上と考えてよろしいでしょうか。	残土については路体部へ運搬、杭等処理費については関連する単価項目に含まれます。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。
145	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	項目NO. 84～89鉄筋工	4月より鉄筋工・ガス圧接工等市場単価が廃止されました。参考積算条件書(その1)では土木工事積算基準適用年月が令和7年7月となっています。単価ファイルの出典(採用単価)を提示ください。	市場単価が廃止された一部の項目においては、市場単価が掲載されている最新版の物価資料等を参照願います。
146	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	項目NO. 106コンクリート構造物取壊し(TypeC) (K)	設計図川田橋(下り線)P21/41の撤去前1-1断面を見ますと撤去範囲の上部805mm範囲のみブロック撤去でその下部960mm範囲は記載がありません。設計成果ではWJ工法と記載されています。想定されている下部の撤去方法は、①ワイヤー②WJ工法③人力取壊しのどれになるのかご教授ください。	特記仕様書26-17-1の通りです。
147	質問書D(設計図書に関する質問)	金抜設計書	項目NO. 124撤去工Ge-A-E	Ge-A-Eの端末支柱における基礎撤去の有無をご教授ください。また、撤去する場合にどの項目に計上するかご教授ください。	基礎は撤去いたします。単価項目は撤去工Ge-A-Eに含んでおります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (特記仕様書26-24-2 設計図 附帯工編 135・137/142)

質問書様式

別紙

件名	上信越自動車道 若穂スマートＩＣ工事
----	--------------------

番号	質問分類（選択）	質問対象（選択）	質問箇所	質 問 事 項	回答（発注者使用欄）
148	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	P40踏掛版工	踏掛版工に構造物掘削が含まれると考えてよろしいでしょうか。また、その掘削範囲がわかる資料などを提示ください。	当該項目に関する掘削は含まれません。 構造物掘削 特殊部Gに含んでおります。 図面（仮設土留め）上り線51・52/75、下り線28/41となります。
149	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	P45安定処理D	中層混合改良と記載がありますが、設計図(川田橋上りP64/75)は高圧噴射攪拌となっています。どちらが正しいのでしょうか。	深層混合改良が正となります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (特記仕様書26-21-3)
150	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	P45安定処理D	高圧噴射攪拌が正しい場合、工法指定および特許料金の計上の有無をご教授ください。また、高圧噴射攪拌における排泥処理に関しては別途協議と考えてよろしいでしょうか。	工法指定はありません。 排泥処理については特記仕様書26-21-5 6) を参照ください。
151	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	工事用機械分解組立費③	高圧噴射攪拌が正しい場合、工事用機械分解組立費③の内容に違いが発生するのではないのでしょうか。	工事用機械分解組立費③に記載の機械を削除しました。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (割掛対象参考内訳書 工事用機械分解組立費③、割掛対象表)
152	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	仮設材運搬費②	特記P51 26-26-5支払において仮設防護柵の運搬と記載があります。どちらで計上したらよろしいでしょうか。また、仮設防護柵1本あたりの概算重量をご教授ください。	割掛対象表を参照してください。また、設計図（本体付帯工）140/142の仕様を満たすものであれば、重量に指定はありません。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (特記仕様書26-26-5)
153	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	仮設材運搬費②	運搬距離が15.6kmとありますが、更埴IC～須坂長野東ICは約18kmあります。また、上り・下り施工で運搬距離は異なるのではないのでしょうか。	上り線25.8km、下り線13.9kmとなります。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (割掛対象参考内訳書 仮設材運搬費②)
154	質問書D(設計図書に関する質問)	割掛対象表	有料道路料金費	有料道路料金費における計上見込みの回数をご教授ください。また、仮設防護柵設置工における有料道路区間は更埴IC～須坂長野東ICではないのでしょうか。	回数については貴社の施工計画に基づき計画してください。 長野IC～須坂長野東ICを想定しております。
155	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	付帯工編P141, 142	交通監視員について、昼施工における交替要員の計上の有無をご教授ください。	貴社の施工計画に基づき計上してください。
156	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	付帯工編P142	交通監視員について、夜間巡視3人とは作業時間外の17:00～9:00=2交替×3人と考えてよろしいのでしょうか。	貴社の施工計画に基づき計上してください。
157	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	川田橋(上り線) A1橋台場所打ち杭配筋図(P43/75)	鉄筋表の中のA鉄筋の重量が項目NO.85鉄筋A(K)の数量に含まれてないと思われます(上りA2、下りA1の鉄筋も同様)。どの項目に計上かご教授ください。	項目NO.85鉄筋A(K)に計上ください。なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (金抜設計書 鉄筋A(K) 設計図 川田橋(上り線)22・40/75、設計図 川田橋(下り線)20/41)
158	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	川田橋	既設の検査路・排水管の撤去・復旧等については、別途工事(上部工工事)と考えてよろしいのでしょうか。	その通りです。
159	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	特記P39管理用通路	管理用通路に関する図面が見つかりませんでした。ご教授ください。	図面を追加しました。また、設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (設計図 側道工事編 3/9)
160	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	特記仕様書26-5掘削、客土掘削 金抜設計書 番号3～7 客土掘削	客土掘削A1、A2、A3、A4、A5の各数量は図面、参考貸与資料から沈下土量を含む盛土数量と考えます。この場合特記仕様書にて「検測」が再定義されていないため地山検測になりますが、検測の仕方をご教示願います。	客土掘削A1、A2は現地盤から計画高さまでの盛土検測、客土掘削A3、A4、A5は盛土の設計数量で検測とお考え下さい。 なお設計図書に誤りがありましたので、交付図書を訂正します。 (特記仕様書 26-5-2)

件名	上信越自動車道 若穂スマートＩＣ工事
----	--------------------

番号	質問分類（選択）	質問対象（選択）	質問箇所	質 問 事 項	回答（発注者使用欄）
161	質問書D(設計図書に関する質問)	設計図	設計図川田橋（上り線、下り線）場所打ち杭	川田橋上り線、下り線の場所打ち杭について施工ヤードの記載がありません。特殊掘削E,F,G での架設ヤードと同様に整備する計画でしょうか、また施工箇所でのかご鉄筋の加工組立には狭隘であると考えられるためB工区A工区など場内に制作ヤードを設置することは可能でしょうかご教示願います。	貴社の施工計画に基づき計画してください。
162	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	特記仕様書26-5掘削、客土掘削 26-6 構造物掘削	工事で流用する土砂の土量換算率は令和7年度土木積算基準7-5 表4-1に示す値 土砂B L=1.25 C=0.87 土砂C L=1.40 C=0.90 土砂E L=1.35 C=0.90 土砂F L=1.15 C=0.95 用いて積算していると考えますがよろしいでしょうかご教示願います。	令和7年度土木工事積算基準を適用して計上することを想定しております。
163	質問書D(設計図書に関する質問)	特記仕様書	特記仕様書5-1土取場の位置 7-3一般道の交通規制及び通行止め 12-1工事用道路の指定	土取場⑦について隣接する道路（若穂東373号線、371号線）が工事用道路に指定されておりましたが土運搬に使用できないと考えてよろしいでしょうか、ご教示願います。	373号線は指定されております。特記仕様書12-1を参照ください。なお、371号線は現場状況から工事用道路として使用できません。